

Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業

訪問看護の推進に関する事業

1 訪問看護推進事業

(1) 訪問看護推進協議会の開催（委員 13 名）

2 回開催：1 月 15 日、3 月 26 日（訪問看護実践センター事業企画評価委員会と併設開催）

(2) 訪問看護に関する総合相談

相 談 日：月～金 9：00～17：00

相談件数：100 件（24 年度実績 53 件）

相 談 者：看護師、介護支援専門員等専門職（訪問看護サービスに関すること）

県民（介護に関すること）

相談内容等	件数
介護に関する内容	7
訪問看護サービス	64
処置に関する内容	6
管理業務・不安	1
運営管理	18
その他	4
計	100

相談者内訳	件数
県民	25
看護職	52
その他の専門職	23
計	100

(3) 訪問看護の普及啓発

①地域連携フォーラムの開催（地区別開催）

項 目	内 容																																				
目 的	在宅医療の中核を担う訪問看護の役割を地域に浸透させるために、在宅ケアに関わる職種との意見交換等を行い、訪問看護の役割について理解を深める。平成 25 年度は、ネットワークが十分に整備されていない君津保健医療圏において、訪問看護師と病院等の看護師が連携し、訪問看護についての理解を深め、訪問看護が円滑に導入されることを目的に開催する。																																				
開催日時	平成 26 年 3 月 9 日（日） 13：30～16：30																																				
参 加 者	君津保健医療圏内の病院等・訪問看護ステーションに勤務している看護職																																				
参加人員	46 名（講師等 6 名、事務局 3 名含む） <地域・勤務先別参加者内訳（講師等含まず）> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>病院</th> <th>病院の 訪問看護</th> <th>訪問看護 ステーション</th> <th>地域包括</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木更津</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>26</td> </tr> <tr> <td>君 津</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>富 津</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>袖ヶ浦</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22</td> <td>4</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>37</td> </tr> </tbody> </table>		病院	病院の 訪問看護	訪問看護 ステーション	地域包括	計	木更津	16	4	3	3	26	君 津	0	0	2	0	2	富 津	3	0	2	0	5	袖ヶ浦	3	0	1	0	4	計	22	4	8	3	37
	病院	病院の 訪問看護	訪問看護 ステーション	地域包括	計																																
木更津	16	4	3	3	26																																
君 津	0	0	2	0	2																																
富 津	3	0	2	0	5																																
袖ヶ浦	3	0	1	0	4																																
計	22	4	8	3	37																																
会 場	君津中央病院 4 階講堂																																				

内 容	<p>「看看連携～一緒に患者さんの退院後の生活を考えてみませんか～」</p> <p>【講演】 君津中央病院の地域連携の取り組み 君津中央病院 地域医療センター訪問看護室師長 杉原 幸子</p> <p>退院後の訪問看護支援の現状「笑顔と安心を届ける訪問看護」 さつき台訪問看護ステーション 所長 平松 春奈</p> <p>【グループディスカッション】 「私の退院支援はこれで良かったの？訪問看護師に聞いてみよう」 ＜ファシリテーター＞</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 60%;">セントケア訪問看護ステーション木更津</td> <td>所 長 並木 令子</td> </tr> <tr> <td>君津訪問看護ステーション</td> <td>所 長 阿部 環</td> </tr> <tr> <td>望の門訪問看護ステーション</td> <td>所 長 渡邊 零子</td> </tr> <tr> <td>さつき台訪問看護ステーション</td> <td>指 導 者 平間 葉子</td> </tr> </table>	セントケア訪問看護ステーション木更津	所 長 並木 令子	君津訪問看護ステーション	所 長 阿部 環	望の門訪問看護ステーション	所 長 渡邊 零子	さつき台訪問看護ステーション	指 導 者 平間 葉子
セントケア訪問看護ステーション木更津	所 長 並木 令子								
君津訪問看護ステーション	所 長 阿部 環								
望の門訪問看護ステーション	所 長 渡邊 零子								
さつき台訪問看護ステーション	指 導 者 平間 葉子								

②リーフレットの配布

項 目	内 容
目 的	訪問看護を必要とする在宅療養者に、訪問看護サービスを適切に導入し、より安定した療養生活を送れるよう、ケアマネジャー等専門職に訪問看護サービスの利用方法、内容等について理解してもらい、訪問看護の普及啓発を図る。
配布先等	<p>「マイナースとつくる安全で安心な在宅での生活」（県民向け） ・看護の日中央行事と 11 地区部会行事（5/12）で配布 6,000 部</p> <p>「訪問看護利用の手引き」（専門職向け） ・随時郵送 168 部 ・協会主催研修会等で配布 389 部</p> <p>「訪問看護事業所一覧」3,000 部作成 ・居宅介護支援事業所、市町村、訪問看護ステーション等に郵送</p>
記載内容	<p>「訪問看護事業所一覧」 県内訪問看護ステーション 236 事業所の最新情報（1 月 1 日現在） 住所、TEL/FAX、営業時間、休業日、サービス提供地域、24 時間体制届出、看護職以外のスタッフ情報、公費負担制度の届出、併設事業所、事業所 PR</p>

③第 32 回千葉県看護研究学会での訪問看護に関するポスター展示・説明

項 目	内 容
目 的	訪問看護に関する知識、理解を深めるために、訪問看護の役割や業務内容、看護協会で開催している事業の説明を行い、訪問看護の普及啓発を図る。
開催日時	平成 26 年 2 月 25 日（火）13：00～15：30
参加者	看護職、学生
参加人員	130 名
会 場	アパホテル&リゾート東京ベイ幕張ホール

内 容	<p>「必見!!～その人らしい生活を支える訪問看護とは～」</p> <p>ポスター展示、説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護について ・千葉県内訪問看護ステーションの現状について ・訪問看護師人材育成事業について ・小規模訪問看護ステーションの支援事業について
-----	---

【まとめ】

訪問看護に関する総合相談については、訪問看護実践センター事業における訪問看護に特化した研修の取り組みが周知され、特に訪問看護師からの電話相談が増加し、昨年 に比べ倍の相談件数となった。

地域連携フォーラムについては、開催地域を君津地区に限定して実施した。病院、ステーション等の看護師同士がテーマに沿って話し合うことで訪問看護についての理解を深めてもらうことができた。次年度は、同地区でケアマネジャーも含めた多職種連携を考えていきたい。

千葉県看護研究学会では、訪問看護に関する特設会場を設置し、ポスター展示による訪問看護業務の紹介や協会で開催している事業の説明を行った。今後も協会事業を通して訪問看護の普及に作成したポスターを活用していく。

2 訪問看護実践センター事業

【目的】

高齢化の進展や在院日数の短縮等に伴い、医療ニーズの高い在宅療養者の増加が見込まれるなか、質の高い在宅医療の推進が重要な課題である。在宅医療の中核を担う訪問看護を安定的にかつ質の高い供給を行うために、訪問看護師等の人材の育成を図るとともに、訪問看護ステーションの業務の効率化等に向けた支援を行うことを目的とする。

(1) 検討委員会・専門部会の開催

- ①訪問看護実践センター事業企画評価委員会（委員 13名）
2回開催：1月15日、3月26日（訪問看護推進協議会と併設開催）
- ②人材育成専門部会（委員 11名）
2回開催：10月22日、3月18日
- ③小規模訪問看護ステーションの支援専門部会（委員 9名）
3回開催：4月24日、10月21日、3月19日

(2) 人材の育成

【目的】

質の高い訪問看護サービスを提供できる人材の育成を図る。

【実施内容】

①新人看護師等育成プログラムの構築

新卒者等訪問看護師を対象に、支援期間を原則2年以内として自律した訪問看護師として活動できることを目的に「新卒者等訪問看護師育成プログラム～地域で育てよう～」を作成した。臨床経験を有する看護師（潜在看護師を含む）の育成については、それぞれが経験してきた背景が異なるため、個々の状況に合わせた育成支援が必要となる。そのため、訪問看護ステーションの管理者と協議し、「新卒者等訪問看護師育成プログラム」から必要な内容を選択し支援するプログラムとなる。

②新人看護師等採用訪問看護ステーションへの支援

支援対象者 4施設8名(新卒1年目1名、新卒2年目1名、潜在等6名)

ア 支援体制

関係施設名	支援内容
就業先訪問看護ステーション	①組織の一員として姿勢・態度の育成 ②勤務と学習を両立できる体制作り ③プリセプターシップを導入し看護実践に根ざした育成
千葉県看護協会 訪問看護実践センター室	①訪問看護師への知識・技術強化支援 ②指導者(プリセプター)への支援・相談 ③管理者への支援・相談 ④振り返りカンファレンス・学習支援者会議の企画・運営 ⑤就業に係る相談
千葉大学大学院看護学研究科	①育成プログラムの共同開発 ②訪問看護実践センター事業の企画・運営への支援

イ 支援に係る会議開催

会議名	構成員	開催回数
振り返りカンファレンス 新卒者等の状況を把握し、新卒者等が学習過程を振り返り、課題を明確にすることができるように支援する	新卒者等 学習支援者 (指導者、管理者、看護協会担当者、千葉大学教員)	70回
学習支援者会議 新卒者等及び学習支援者の課題を共有し、新卒者等の目標が達成できるように支援方法や体制について検討する	学習支援者 (指導者、管理者、看護協会担当者、千葉大学教員)	49回
人材育成全体会議 新卒者等、学習支援者が目的を達成することができるようプログラム全体の企画・調整を行う	人材育成に関わる組織の学習支援者 (看護協会、千葉大学教員、訪問看護ステーション)	5回

ウ 新卒者等訪問看護師育成プログラムに基づく研修会の実施

<新卒看護師1年目> 対象者 1名

研修	研修日	研修内容	研修機関
新人看護職員研修	4月25日	情報管理・感染管理	千葉県看護協会
	4月26日	フィジカルアセスメント	
	5月27日	摂食嚥下障害を持つ患者の看護	
	5月28日	心電図・薬剤の知識	
	6月7日	フレッシュセミナー	
	8月28～30日 9月4～6日	千葉県済生会習志野病院 実技研修	
	6月17日	スキンケア	
	8月7日	医療安全について	
	10月3日	フレッシュセミナー	
	11月1日	物品・コスト管理	
訪問看護実践研修 保健医療福祉をめぐる社会動向	5月18、19日	訪問看護基礎講座	日本訪問看護財団
フィジカルアセスメント	12月14日	フィジカルアセスメント	全国訪問看護事業協会
呼吸管理	2月15日	呼吸理学療法	
急変時の看護	6月8日	心肺蘇生法トレーニング一次救命処置(BLS)	千葉県看護協会
在宅ターミナルケア	2月3日	穏やかな看取りへのケア(訪問看護師養成研修)	
スキンケア	12月7日	スキンケア(訪問看護師養成研修)	
精神症状のある在宅療養者の看護	8月8、9日	高齢者の理解と認知症患者への対応	
退院支援	11月14、15日	生活をつなぐ退院支援	
リスクマネジメント	8月7日	医療安全について(新人看護職員研修)	
訪問看護師養成研修	7～2月	eラーニング(自己学習) 集合研修(訪問看護展開論、スキンケア、穏やかな看取りへのケア)	千葉県看護協会
基礎看護技術研修	5月16日	膀胱留置カテーテル	千葉県看護協会 訪問看護実践センター室
	5月23日	吸引(鼻腔・口腔・気管)	
	5月30日	栄養管理(胃瘻)	
	6月13日	採血	
	5月30日、1月16日	事例検討会	
実務研修	10月1,2,4,8,9, 11,29,30日	訪問看護ステーション研修(8日間)	ふたわ訪問看護ステーション

<新卒看護師2年目> 対象者1名

研修	研修日	研修内容	研修機関
訪問看護実践研修 急変時の看護	7月27日	急変対応セミナー	日本訪問看護財団
小児/障がい児の看護	9月21日	小児訪問看護	全国訪問看護事業協会
基礎看護技術研修	6月6日	事例検討会	
実務研修	9月12、19日	病院(2日間)	千葉大学医学部附属病院
	10月10、11日	在宅療養支援診療所(2日間)	黒砂台診療所
	10月21、22、23日	介護保険施設等(3日間)	デイサービス なごみの家

＜臨床経験を有する看護師(潜在看護師を含む)＞ 対象者 6名

研修	研修日	研修内容	研修機関
訪問看護実践研修			
保健医療福祉をめぐる社会動向	5月18、19日	訪問看護基礎講座	日本訪問看護財団
フィジカルアセスメント	6月13、14日 12月14日	フィジカルアセスメント ※6月または12月のいずれかを受講	千葉県看護協会 全国訪問看護事業協会
呼吸管理	2月15日	呼吸理学療法	
急変時の看護	6月8日	心肺蘇生法トレーニング一次救命処置(BLS)	
在宅ターミナルケア	2月3日	穏やかな看取りへのケア(訪問看護師養成研修)	
スキンケア	12月7日	スキンケア(訪問看護師養成研修)	千葉県看護協会
精神症状のある在宅療養者の看護	8月8、9日	高齢者の理解と認知症患者への対応	
退院支援	11月14、15日	生活をつなぐ退院支援	
訪問看護師養成研修	7～2月	eラーニング(自己学習) 集合研修(訪問看護展開論、スキンケア、穏やかな看取りへのケア)	千葉県看護協会
基礎看護技術研修	5月7日	受持ち利用者の関連図について	
	5月14日	膀胱留置カテーテル、受持ち利用者の関連図について	
	5月20日	受持ち利用者の関連図について	
	5月21日	吸引(鼻腔、口腔、気管)、栄養管理(ポート)	
	5月24日	吸引(鼻腔、口腔、気管)、受持ち利用者の関連図について	
	6月19日	事例検討会	
	7月4日	摘便	
	7月11日	事例検討会	
	7月24日	事例検討会	
	7月25日	ポート、胃瘻	
	8月28日	介護保険について	
	9月19日	医療保険について	
	11月20日	事例検討会	
	1月9日	介護保険について	
	1月24日	事例検討会	
	3月11日	事例検討会	千葉県看護協会 訪問看護実践センター室

エ 支援修了者

平成 24 年採用新卒看護師 1 名 (支援対象期間 2 年間)

平成 25 年採用潜在看護師等 3 名 (支援対象期間 1 年間) 計 4 名

なお、平成 25 年度から支援を開始し、上記以外の支援対象者 (潜在看護師等) 3 名については、支援終了期間や評価基準に到達していないため、引き続き育成支援を継続する。この 3 名 (臨床経験を有する看護師、潜在看護師を含む) の支援終了に関しては、育成プログラムにおける評価基準に沿って、協会担当者 と在籍する訪問看護ステーションの管理者が協議の上、到達度を評価し終了を決定する。

③研修会の開催

ア 訪問看護師養成講習会

開催時期	内 容		受講者	
7月1日～11月30日	訪問看護eラーニング	・ インターネットを利用し、パソコンの画面を見て訪問看護の基礎的知識を学ぶ	41名	
7月3日(水)	開講式	・ 特別講義「在宅療養を支える訪問看護師の役割」 ・ 訪問看護研修ステップ1について		
集合研修	9月28日(土)	訪問看護展開論 ・ 訪問看護の根拠法と制度について ・ 家族支援の基礎 ・ 訪問看護過程		千葉大学大学院看護学研究科 講師 辻村 真由子 (eラン36名 一般47名計83名)
	12月7日(土)	スキンケア ・ 基本的なスキンケアについて ・ ストーマケア(演習)		東京勤労者医療会 東葛病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 宗川 愛 他アシスタント1名 (eラン32名)
	平成26年 2月3日(月) または4日(火)	穏やかな看取りへのケア ・ 看護師がとらえる死生観 ・ 看取りのケア ・ エンゼルメイク、エンゼルケア ・ 感染予防対策上の死後の処置		
平成26年1月14日(火) ～2月18日(火)	実習 (実習先9箇所)	・ 実習2日間、同行訪問 ・ 訪問看護実践をとおして、在宅療養者及び家族への援助方法を習得し、地域における訪問看護師の役割を理解する		
平成26年 2月28日(金)	閉講式	・ 修了報告会 ・ 全課程修了 31名		

イ 訪問看護師スキルアップ研修

開催時期	内 容	講 師	受講者
6月1日(土)	褥瘡のケア ・ 褥瘡のリスクアセスメントと評価 ・ 褥瘡の治療方法とケア ・ 褥瘡症例検討 ・ 体圧分散寝具の効果 ・ 褥瘡ケアのテクニック ・ 事例検討発表	社会保険船橋中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 茅野 昌子 他アシスタント1名	53名
12月21日(土) 平成26年1月18日(土)	緩和ケアに関わる研修 ・ ELNEC-Jコアカリキュラム 看護師教育プログラム 1日目 モジュール1～5 2日目 モジュール6～10	千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江 弘子 まちのナースステーション八千代 所長 福田 裕子 他講師7名 アシスタント5名	51名

ウ 管理研修

開催時期	内 容	講 師	受講者
6月9日(日)	訪問看護ステーション 経営研修 ・ 訪問看護の質について考える 選ばれる訪問看護ステーションになる ために ・ 訪問看護ステーション管理者のため の経営分析入門	千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江 弘子 (株)日本経営エスディサポート 主任研究員 大西 大輔	44名
平成26年 2月15日(土)	新任・新卒訪問看護師育成 指導者研修会 ・ 千葉県の新卒者等訪問看護師育成 事業の考え方と育成プログラム ・ 新卒者や新任者の特性の理解と教育 者の役割 ・ 学習支援とは、自己評価支援ツール の考え方 ・ グループワーク	千葉大学大学院看護学研究科 特任教授 長江 弘子 千葉大学大学院看護学研究科 講師 辻村 真由子 アシスタント1名	15名

エ 退院支援研修

開催時期	内 容		講 師	受講者
7月17日(水)	退院支援研修 —地域と施設の相互交流—	・在宅医療の現状と訪問看護の役割	順天堂大学医療看護学部 先任准教授 樋口 キエ子	77名
7月24日(水)		・訪問看護の概要と在宅療養者の特徴 ・利用者を受け入れるうえで、どのような情報があればよいのか	カンナ訪問看護ステーション 所長 柴崎 ゆかり	
8月1日(木)～30日(金)		・病院看護師はどのような視点で退院調整をしているのか ・ケアプランの作成について	千葉大学医学部附属病院 地域医療連携部 津野 祥子 看護協会ちば訪問看護ステーション ケアマネージャー 鈴木 薫	
9月6日(金)		・臨地実習 (実習先34箇所) ・臨地実習での体験と学びについて	看護協会ちば訪問看護ステーション ケアマネージャー 鈴木 薫	
		・在宅移行期の看護連携について	千葉県看護協会 訪問看護実践センター室 保坂 和子	
		・退院時共同カンファレンスの目的、内容 ・カンファレンスの実際	社会保険船橋中央病院 退院調整者 伊藤 孝行 看護協会ちば訪問看護ステーション ケアマネージャー 鈴木 薫 千葉メディカルセンター 地域医療連携室 神谷 明美	

【まとめ】

新人看護師等育成の支援の実際をとおして、育成プログラムを構築することができた。育成プログラムの「学習支援マニュアル」、「育成プログラムの活用事例と普及啓発」については、更に実践をとおして修正していく。

新卒看護師は、育成プログラムに基づく支援を行った結果、就職後23ヶ月で単独24時間緊急対応を行うことができるなど、評価基準に達し、プログラムの目標は達成することができた。支援した訪問看護ステーションでは、プリセプターシップの導入など、新人訪問看護師等の指導を適切に行える指導体制を整備することができた。

訪問看護師養成講習会は、受講者41名でスタートしたが、本人の都合による中途終了や既定の講義を受講できない受講者が多く全課程を修了したのは31名であった。来年度は、受講者が全課程を修了できるように支援していく。

退院支援研修では、地域医療の重要性が認識され、病院看護師の受講希望が多く、77名が受講した。研修では講義だけでなく、訪問看護ステーションの実習が1日あり、訪問看護の実際を理解することで病院からの退院支援の在り方を考えることができた。

(3) 小規模訪問看護ステーションの支援

①IT化・ネットワーク化の促進

【目的】

小規模訪問看護ステーションの周辺事務の効率化を推進する。

【実施内容】

ア 千葉県看護協会版訪問看護ソフトの開発

委託先：いきいきメディケアサポート株式会社

<ソフトの概要>

- ・千葉県看護協会が考案した「訪問看護記録Ⅰ・Ⅱ、満足度調査、業務管理日誌」が作成できる。
- ・モバイル端末を使用し、訪問先で訪問看護記録が入力できる。
- ・訪問看護記録情報がレセプト請求と連動できる。
- ・訪問看護記録情報から訪問看護計画書、訪問看護報告書、看護サマリーが、一部自動作成できる。
- ・災害時の支援情報カード、安否確認表が自動作成できる。
- ・簡易的な経営評価ができる。
- ・利用者を中心とした多職種間で情報共有ができる。

イ 訪問看護実践センターシステムの開発

<システムの概要>

- ・経営診断シミュレーションシステム
県内訪問看護ステーションが、自事業所の経営状況を客観的に評価し経営の安定化を図ることができるよう、経営改善に向けてのシミュレーションができる。
- ・県内経営状況調査システム
定期的に県内の訪問看護ステーションの経営状況を調査するとともに、診療報酬の改定で訪問看護ステーションの経営がどのように変わったかを把握する。
- ・訪問看護に係るデータベース化システム
安全で質の高い看護を提供するために、訪問看護に関する実績を集約する。

ウ 「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」導入支援事業

開発ソフトの普及にあたっては、現在使用しているソフトの現状や開発ソフトへの関心度を調査し、関心を示した訪問看護ステーションを対象に、地域における説明会や戸別訪問等による普及啓発を実施した。

その結果、小規模 12 事業所、小規模以外 3 事業所が事業に参画し、10 月から各訪問看護ステーションで順次ソフトの使用を開始した。また、ソフトを導入した事業所には、iPad・パソコン等の機器貸与（小規模事業所のみ）や戸別訪問による操作説明など導入支援を実施した。

エ 千葉県看護協会版訪問看護ソフト導入に伴う周辺事務の効率化等の検証

「千葉県看護協会版法も看護ソフト導入支援事業」評価

調査目的：県内訪問看護ステーションにおいて使用を開始した『千葉県看護協会版訪問看護ソフト』の使用状況や使用に伴う業務改善の状況を把握し、当該事業の評価を行い、訪問看護ステーションの周辺事務の効率化を推進し、質の高い訪問看護を安定的に供給できる体制を整備する。

また、この結果を他の訪問看護ステーションへの普及啓発の資料とする。

調査対象：『千葉県看護協会版訪問看護ソフト』を使用している 15 事業所

※15 事業所のうち 2 事業所は、急な人手不足による業務量増加により新たなソフトを導入することが難しくなったとの申し出等があり、ソフトの使用に至らず事業評価が提出されなかった。

調査時期：平成 25 年 11 月～平成 26 年 3 月

調査結果：

使用状況について

- ・「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」の使用事業所は、11 月 7 事業所、12 月 10 事業所、1 月 10 事業所、2 月 12 事業所、3 月 13 事業所と漸次増加した。また、

使用者数も、11月41人、12月59人、1月57人、2月67人、3月75人と増加した。

- ・各帳票については、ソフトを使用しデータが蓄積されるにつれて少しずつさまざまな帳票を利用してきている。

業務改善の状況等について

- ・iPadの利用は、訪問看護記録Ⅰ（基本情報）、訪問看護記録Ⅱ（日々の記録）ともに漸次増加した。訪問先や移動時間の合間など出先で使用するにより、「記録にかかる時間の短縮ができた」、「利用者へのケアの時間が増えた」、「残業を減らすことができた」等の声が聞かれた。
- ・iPadやスマートフォンを活用することにより、緊急時の記録の参照や直行直帰の導入、ワーク・ライフ・バランスの推進等業務の効率化を図ることができた。

周辺事務の効率化について

- ・ソフト導入当初は業務環境の変化等に伴い負担増もみられるが、訪問看護記録時間については5か月間で軽減または一部軽減したと回答した事業所が6事業所（46.2%）あった。

当該事業について

- ・上記のことから本事業の目的である訪問看護ステーションの周辺事務の効率化については、利用者がIT機器に不慣れなことや5か月間の試行期間中であったが、目的はおおむね達成できたものと考えている。今後、質の高い訪問看護を安定的に供給するため、訪問看護ステーションでデータを集積する体制の整備・推進につながった。

【まとめ】

昨年度末にソフト開発を委託し、今年度に入り本格的に仕様打合せを行い、10月から「千葉県看護協会版訪問看護ソフト」として、訪問看護ステーションへの導入が可能となった。開発したソフトは、訪問看護記録のIT化だけでなく、そのIT化を活用し、訪問看護の周辺事務の効率化を目的に仕様の確定を行ってきた。日々の訪問看護記録の入力により、その内容がレセプトや管理業務へデータが連動するなどである。

今後は、導入した訪問看護ステーションがIT化により業務改善へとつなげ、訪問看護師の働きやすい職場環境を整備できるよう継続支援を行い、評価を行っていく予定である。さらに、多くの訪問看護ステーションが開発したソフトを導入するよう広報活動に努めていく。

②ステーションの管理運営に関する支援

【目的】

小規模訪問看護ステーションの安定的な経営を図るため、訪問看護ステーションの経営診断・経営分析を行うための基盤整備を行う。

ア 訪問看護ステーション経営実態調査の実施

調査目的：千葉県内における訪問看護ステーションの経営実態を把握し、各事業所が安定的な経営を実現するために参考となる経営指標の作成

調査対象：千葉県内の訪問看護ステーション231事業所

調査時期：平成25年6月15日～8月15日の2ヶ月間

調査項目：①基本情報、②人員体制、③経営状況（P/L：損益計算書）、④経営状況（B/S：貸借対照表）、⑤直近の活動概況

調査結果：回収81事業所（回収率35%）

平成 24 年度決算データ（損益計算書：P/L）から、「利益率」「介護報酬割合」「療養費割合」「人件費率」「事務職員割合」「最大距離」「最長移動時間」の 7 つの指標について、「規模（大、小）」、「地域（都市、地方）」、「損益（黒字、赤字）」との違いを考察した。また、平成 25 年 6 月の 1 ヶ月の活動概況に基づき、「介護報酬平均単価」「療養費平均単価」「看護職員 1 人 1 日当り訪問数」の 3 つの指標について、「規模（大、小）」、「地域（都市、地方）」の違いを考察した。

○損益別比較

	全体平均	黒字施設	赤字施設
利益率	5%	15%	▲18%
介護報酬割合	53%	56%	46%
療養費割合	40%	38%	46%
人件費率	75%	67%	92%
事務職員割合	6%	7%	3%
介護報酬平均単価	8,709 円	9,450 円	7,018 円
療養費平均単価	10,638 円	11,086 円	9,614 円
看護職員 1 人 1 日当り訪問数	3.1 回	3.4 回	2.4 回

「損益」については、黒字（利益率がプラス）、赤字（利益率がマイナス）に分けて各指標について分析を行った。指標の中で特に「人件費率」「事務職員割合」「看護職員 1 人 1 日当り訪問数」について損益による大きな差が見られた。

○規模別比較

	大規模施設	小規模施設
利益率	8%	3%
介護報酬割合	50%	55%
療養費割合	40%	39%
人件費率	77%	76%
事務職員割合	6%	5%
介護報酬平均単価	9,956 円	7,848 円
療養費平均単価	10,711 円	10,633 円
看護職員 1 人 1 日当り訪問数	3.5 回	2.9 回

「規模」については、大規模（5 人以上）と小規模（5 人未満）に分けて指標について分析を行った。指標の中で特に、「利益率」と「看護職員 1 人 1 日当り訪問数」に規模による差があった。

○地域別比較

	都市部施設	地方部施設
利益率	8%	2%
介護報酬割合	57%	47%
療養費割合	35%	47%
人件費率	70%	81%
事務職員割合	6%	5%
介護報酬平均単価	9,922 円	7,133 円
療養費平均単価	10,821 円	10,401 円
看護職員 1 人 1 日当り訪問数	3.6 回	2.6 回

「地域」については、都市部（東葛北部、東葛南部、千葉）、地方部（印旛、市原、君津、安房、香取・海匝、山武・長生・夷隅）に分けて各指標について分析を行った。指標の中でも特に「利益率」「看護職員 1 人 1 日当り訪問数」について地域による差が見られた。